

大阪大学からのインターインシップ受け入れ

二月十日から十四日までフィリピンの大学から大阪大学大学院国際公共政策学科へ留学しているクリスティン・カンバイさんがインターインシップとして中学二年生の英語Iの授業を担当されました。



クリスティン・カンバイさんによる授業

二月十日から十四日までフィリピンの大学から大阪大学大学院国際公共政策学科へ留学しているクリスティン・カンバイさんがインターインシップとして中学二年生の英語Iの授業を担当されました。

（森脇）

海外研修

本年度も高校一年生が英国研修として、イートン校（37名、引率教諭田中香・佐藤）、ハロウ校（65名、同矢野）、ラグビー校（31名、同中村啓）の約三週間のサマースクールに参加しました。

天候にも恵まれ、各校それぞれの特徴あるプログラムを無事修了して帰国しました。

いずれの校でも、関係者から「金蘭千里の生徒は素晴らしい」との高い評価を得ました。私も、日々生徒たちの元気な活動ぶりを眺めては、「自分も高校時代にこのような経験をしたかったな」という羨ましさを覚えていました。

日常では味わえない、まさに別世界の体験。たくさん写真を撮影したり御土産物を購入したり、物質的な思い出は残ることでしょう。更に、プラスαの精神的成长を期待して已みません。

最後に、日本や現地で御世話になつたすべての方々に厚く御礼申し上げます。

（中村啓）



ラグビー校 エリス少年の像

中一宿泊研修

入学式の緊張も解けないまま、四月九日、新入生達は始業式、身体測定の後の研修に参加した。校長先生、幸田優子先生によるマナー講習があった。新鮮で興味深いお話を、全員集中して、耳を傾けていた。

坂本先生の「正しい容儀で明るく挨拶」講座の後、生徒達は新品のジャージに着替え、校内見学。食堂での夕食では、張りつめていた空気が一瞬緩んで、和やかな時間が流れていった。

そして、吹田市自然体験交流センターに移動し、音楽の河邊先生による母校讃歌の練習。午前中の始業式では歌えなかつた母校讃歌が歌えるようになって、皆喜んでいた。最後に、一日の振り返りを書いて就寝。

翌日四月十日は天候にも恵まれ、辰巳先生による母校讃歌の歌詞の解説、渋谷先生によるアクトイビティの後、施設の清掃などに汗を流し、昼食をとつて帰校した。生徒一人ひとりのしおりには、校長先生からのメッセージが添えられている。これらの学校生活での糧になると信じている。

（御代田）



幸田優子先生によるマナー講習

辻本賢理事長・校長先生文部科学大臣教育者表彰受賞

昨年十一月二十七日、本校の理事長・

校長の辻本賢先生は永年に渡る私学教育に対する多大な功労により、平成二十五年度文部科学大臣教育者表彰を受けられ、皇居にて拝謁の榮に浴されました。これは本校にとても大変名誉なことであり、心からお祝い申し上げます。

辻本先生は、本校創立時の昭和四十一年に着任後、社会科の指導や担任としての指導はもとより、教務主任、教頭として力を發揮され、さらには学長、理事長として、学校運営・学校経営の最高責任者として本校発展のため貢献してこられました。

さらにその活動は、大阪私立中学校高等学校連合会副会長、大阪府私学総連合会理事、近畿私立中学高等学校連合会理事、日本私立中学高等学校連合会理事、日本私立中学校高等学校連合会理事、日本私学教育研究所理事、O S I P P（大阪大学大学院国際公共政策研究科）アドバイザリーボード委員など多岐にわたっておられ、広く私学教育に貢献されています。先生の益々のご活躍を祈念致します。

（大中）